



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社日本触媒 上場取引所 東  
 コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 全徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 和田 輝久 TEL (06) 6223-9111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は四捨五入して表示)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	209,414	2.5	7,359	△31.1	10,108	△23.7	8,322	88.3
25年3月期第3四半期	204,383	△15.7	10,684	△59.8	13,241	△51.3	4,420	△74.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 18,314百万円(369.8%) 25年3月期第3四半期 3,898百万円(△69.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	41.00	—
25年3月期第3四半期	21.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	400,387	235,869	57.5	1,134.66
25年3月期	352,373	220,248	61.1	1,059.85

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 230,305百万円 25年3月期 215,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	5.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—		
26年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	11.3	14,000	39.5	17,000	23.0	11,000	30.9	54.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	204,000,000株	25年3月期	204,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,027,618株	25年3月期	1,010,242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	202,985,120株	25年3月期3Q	202,996,559株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（セグメント情報等）	10
（参考情報）	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の拡大テンポが緩やかになったことや、欧州債務国の財政問題の影響など海外景気の下振れ懸念があるものの、異次元の金融緩和などの経済・金融政策を背景とした円安を受けて、生産の緩やかな増加や企業業績の改善がみられ、株高により個人消費が復調し、またアメリカ経済が回復傾向にあるなど、景気が緩やかに回復しつつある中で推移しました。

化学工業界におきましては、緊迫する中東情勢などを受けた原油高を背景とした原料価格の高止まりなど、予断を許さない状況が続きました。

平成24年9月29日、当社姫路製造所において爆発・火災事故が発生しました。このため、関係ご当局からの危険物製造所等一時使用停止命令により、姫路製造所および隣接する関係会社の全プラントが停止いたしました。同年11月1日以後、解除する旨の通知を数次にわたって頂きました。

それにより、同年11月に自動車触媒を含む触媒関連および塗料用樹脂、同年12月に電子情報材料および樹脂改質剤、平成25年1月に無水マレイン酸およびコンクリート混和剤用ポリマーの生産を再開いたしました。また、当期に入り、平成25年6月にアクリル酸と高吸水性樹脂、同年7月に特殊エステルおよび洗剤原料用の水溶性ポリマー、同年8月にアクリル酸エステルの生産を順次再開いたしました。

同年12月18日には、全ての停止命令を解除する旨の通知を頂き、第4四半期の平成26年1月から2月にかけて、最後まで停止しておりましたアクリル酸プラントでの生産を再開する予定です。

これで、事故により停止しておりました全てのプラントが復旧・再稼働を果たすこととなります。

## ①全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	204,383	209,414	5,031	2.5%	269,520
営業利益	10,684	7,359	△3,325	△31.1%	10,034
経常利益	13,241	10,108	△3,133	△23.7%	13,824
四半期(当期)純利益	4,420	8,322	3,902	88.3%	8,401
1株当たり四半期(当期)純利益	21.77円	41.00円	19.23円	88.3%	41.38円
ROA(総資産経常利益率)	5.1%	3.6%	—	△1.5ポイント	3.9%
ROE(自己資本当期純利益率)	2.9%	5.0%	—	2.1ポイント	4.0%
為替(\$、EUR)	\$=¥79.96 EUR=¥102.06	\$=¥99.36 EUR=¥132.17		¥19.40 ¥30.11	\$=¥83.09 EUR=¥107.06
ナフサ価格	55,400円/kl	65,700円/kl		10,300円/kl	57,500円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外子会社で新たに稼働した設備がありながら上述の姫路製造所事故の影響などにより販売数量は大幅に減少したものの、原料価格の上昇に伴い販売価格の修正を行ったことおよび円安が進んだことにより、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)に比べて50億3千1百万円増収(2.5%)の2,094億1千4百万円となりました。

利益面につきましては、スプレッドの改善はあったものの、姫路製造所事故の影響などにより販売数量が減少したことおよび固定費高により、営業利益は前年同四半期に比べて33億2千5百万円減益(△31.1%)の73億5千9百万円となりました。

経常利益は、技術料収入や持分法損益が減少したものの、円安が進んだために為替差損益が改善したことなどにより営業外損益が1億9千3百万円の増益となり、前年同四半期に比べて31億3千3百万円減益(△23.7%)の101億8百万円となりました。

また、事故に関連する保険金の受領により特別利益として91億4千2百万円、ならびに事故により休止している設備が負担する固定費を休止固定費として振替えることなどにより特別損失として73億5千6百万円を計上しております。結果、特別損益は前年同四半期と比べて73億8千6百万円改善いたしました。

四半期純利益は、前年同四半期に比べて39億2百万円増益(88.3%)の83億2千2百万円となりました。

## ②セグメント別の概況

### [基礎化学品事業]

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、姫路製造所事故による生産停止の影響により販売数量が大幅に減少したものの、原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、販売数量が増加したことに加え、円安が進んだことや原料価格の上昇に伴い販売価格も上昇したことにより、大幅な増収となりました。

酸化エチレンおよび高級アルコールは、販売数量はほぼ横ばいでしたが、原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

エタノールアミンは、原料価格高に伴い販売価格を修正したものの、販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて6.7%増加の925億4百万円となりました。

営業利益は、加工費の低減などに努めたものの、事故の影響により販売数量が大幅に減少したことに加え、生産量の減少に対し商品購入で対応したことによるスプレッド縮小などによって収益性が悪化した結果、前年同四半期に比べて86.3%減少の4億5千3百万円となりました。

### [機能性化学品事業]

高吸水性樹脂、洗剤原料などの水溶性ポリマーおよび特殊エステルは、姫路製造所事故による生産停止の影響により販売数量が大幅に減少したため、大幅な減収となりました。

粘接着剤・塗料用樹脂および粘着加工品は、販売数量が減少したため、減収となりました。

エチレンイミン誘導品は、販売価格を修正しましたが、販売数量が減少したため、減収となりました。

無水マレイン酸、電子情報材料およびよう素化合物は、販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマーおよび樹脂改質剤は、販売数量が減少したものの、価格修正などにより、増収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて6.0%減少の986億3千6百万円となりました。

営業利益は、円安の影響や原料価格の上昇に伴う販売価格修正によりスプレッドは改善したものの、販売数量が減少した影響が大きく、前年同四半期に比べて16.5%減少の56億4千3百万円となりました。

### [環境・触媒事業]

湿式酸化触媒、燃料電池材料、脱硝触媒およびリチウム電池用ポリマーは、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

自動車触媒は、販売数量が増加したことに加え、貴金属価格の上昇に伴い販売価格が上昇したことにより、大幅な増収となりました。

プロセス触媒およびダイオキシン類分解触媒は、販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期に比べて43.7%増加の182億7千4百万円となりました。

営業利益は、在庫評価損が増加したものの、販売数量の増加などにより、前年同四半期に比べて27.0%増加の12億2千1百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて480億1千4百万円増加の4,003億8千7百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べて297億9千4百万円増加しました。受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加などによるものです。なお、平成24年9月29日に当社姫路製造所において発生しました爆発・火災事故により罹災した資産の修繕費等について、保険金が受領できる見込みであるため、当第3四半期連結累計期間において新たに9億9千6百万円を火災未決算として流動資産の「その他」に計上しました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて182億2千万円増加しました。設備投資による有形固定資産の増加や、時価の上昇による投資有価証券の増加などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて323億9千3百万円増加の1,645億1千8百万円となりました。支払手形及び買掛金、長期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて156億2千1百万円増加の2,358億6千9百万円となりました。為替換算調整勘定、利益剰余金、並びにその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の61.1%から57.5%へと3.6ポイント減少しました。なお、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べて74.81円増加の1,134.66円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの収入、借入れ等の財務活動によるキャッシュ・フローの収入、並びに現金及び現金同等物に係る換算差額が、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フローの支出を上回ったため、前連結会計年度末に比べて5億6千万円増加の483億6千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間の177億9千5百万円の収入に対し、当第3四半期連結累計期間は133億6千万円の収入となりました。当社姫路製造所の製造設備が順次再稼働したことに伴い、売上債権並びにたな卸資産が増加したことなどにより、前第3四半期連結累計期間に比べて44億3千5百万円の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間の225億7千万円の支出に対し、当第3四半期連結累計期間は188億6千5百万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、前第3四半期連結累計期間に比べて37億5百万円の支出の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間の9億7千1百万円の収入に対し、当第3四半期連結累計期間は45億6千4百万円の収入となりました。当第3四半期連結累計期間は社債の償還による支出がなかったこと、及び配当金の支払額が減少したことなどにより、前第3四半期連結累計期間に比べて35億9千3百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の業績は、平成25年11月7日に発表いたしました通り、売上高3,000億円、営業利益140億円、経常利益170億円、当期純利益110億円を見込んでおります。

通期の連結業績につきましては、平成26年3月期第4四半期の為替レートを100円/米ドル、130円/ユーロとし、ナフサ価格を72,000円/キロリットルの前提としております。

姫路製造所は全てのプラントが当第4四半期に入って復旧・再稼働を果たす予定であり、事故の影響は今後、ほとんどないものと予想しております。厳しい事業環境下ではありますが、『安全が生産に優先する』の社是の下、安全には十分留意した上で、生産・販売数量の拡大に注力しつつ、スプレッドの維持・拡大等にも努めて参ります。

なお、前回発表いたしましたセグメント別の通期業績予想は以下の通りであります。

※ご参考：前回発表（平成25年11月7日）報告セグメント別業績予想値

(単位：億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期予想	1,260	20	1,500	95	240	25

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,847	51,657
受取手形及び売掛金	52,579	67,116
商品及び製品	21,468	32,003
仕掛品	7,170	7,011
原材料及び貯蔵品	13,571	14,276
その他	14,466	16,864
貸倒引当金	△49	△82
流動資産合計	159,051	188,845
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	52,031	47,852
土地	32,396	32,387
建設仮勘定	25,321	40,886
その他（純額）	32,978	33,702
減損損失累計額	△4,225	△4,850
有形固定資産合計	138,502	149,977
無形固定資産		
その他	2,227	2,776
無形固定資産合計	2,227	2,776
投資その他の資産		
投資有価証券	37,252	43,646
その他	15,452	15,259
貸倒引当金	△111	△115
投資その他の資産合計	52,593	58,790
固定資産合計	193,322	211,542
資産合計	352,373	400,387
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,415	56,450
短期借入金	14,533	18,489
1年内返済予定の長期借入金	14,080	14,974
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	751	2,052
賞与引当金	2,597	1,179
その他の引当金	2,749	3,031
その他	10,084	15,043
流動負債合計	84,208	121,219
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	26,060	30,854
退職給付引当金	10,418	10,611
その他	1,439	1,834
固定負債合計	47,917	43,299
負債合計	132,125	164,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,038	25,038
資本剰余金	22,083	22,083
利益剰余金	172,376	178,059
自己株式	△897	△918
株主資本合計	218,599	224,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,846	5,906
繰延ヘッジ損益	1	15
為替換算調整勘定	△6,309	122
その他の包括利益累計額合計	△3,462	6,042
少数株主持分	5,111	5,564
純資産合計	220,248	235,869
負債純資産合計	352,373	400,387



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	204,383	209,414
売上原価	167,638	176,525
売上総利益	36,744	32,889
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	7,884	7,582
人件費	5,778	5,762
研究開発費	7,984	8,001
その他	4,414	4,186
販売費及び一般管理費合計	26,060	25,530
営業利益	10,684	7,359
営業外収益		
受取利息	58	74
受取配当金	795	694
持分法による投資利益	1,170	989
受取技術料	1,133	232
不動産賃貸料	818	825
為替差益	—	788
その他	339	317
営業外収益合計	4,312	3,918
営業外費用		
支払利息	506	406
為替差損	523	—
減価償却費	243	279
その他	484	483
営業外費用合計	1,756	1,169
経常利益	13,241	10,108
特別利益		
受取保険金	—	9,142
特別利益合計	—	9,142
特別損失		
爆発火災事故に係る損失	5,198	6,715
減損損失	89	369
事業整理損	—	223
関係会社出資金評価損	—	50
関係会社株式評価損	264	—
投資有価証券評価損	50	—
特別損失合計	5,601	7,356
税金等調整前四半期純利益	7,640	11,893
法人税、住民税及び事業税	1,661	2,993
法人税等調整額	1,480	380
法人税等合計	3,141	3,373
少数株主損益調整前四半期純利益	4,499	8,520
少数株主利益	79	198
四半期純利益	4,420	8,322

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,499	8,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△320	3,058
繰延ヘッジ損益	2	13
為替換算調整勘定	△628	5,384
持分法適用会社に対する持分相当額	346	1,339
その他の包括利益合計	△601	9,794
四半期包括利益	3,898	18,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,823	17,826
少数株主に係る四半期包括利益	75	488

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,640	11,893
減価償却費	11,216	12,008
関係会社出資金評価損	—	50
関係会社株式評価損	264	—
減損損失	89	369
投資有価証券評価損益 (△は益)	50	—
事業整理損失	—	153
受取保険金	—	△9,142
受取利息及び受取配当金	△852	△768
支払利息	506	406
持分法による投資損益 (△は益)	△1,170	△989
売上債権の増減額 (△は増加)	25,903	△14,247
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,699	△9,717
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,242	16,797
その他	△3,950	△3,367
小計	26,153	3,447
利息及び配当金の受取額	2,619	1,709
利息の支払額	△425	△364
保険金の受取額	—	9,142
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△10,551	△573
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,795	13,360
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△20,839	△16,455
投資有価証券の売却による収入	—	93
貸付けによる支出	△1,164	△600
その他	△567	△1,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,570	△18,865
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△217	3,558
長期借入れによる収入	16,076	9,554
長期借入金の返済による支出	△5,339	△5,826
社債の償還による支出	△5,000	—
配当金の支払額	△4,466	△2,639
少数株主への配当金の支払額	△44	△31
自己株式の売却による収入	—	3
自己株式の取得による支出	△6	△23
その他	△33	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	971	4,564
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1,501
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,802	560
現金及び現金同等物の期首残高	50,812	47,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,010	48,361

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	86,734	104,934	12,714	204,383	—	204,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,760	992	1,574	21,326	△21,326	—
計	105,494	105,926	14,288	225,708	△21,326	204,383
セグメント利益	3,294	6,762	961	11,016	△332	10,684

(注) 1 セグメント利益の調整額△332百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒		
減損損失	—	—	—	89	89

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,504	98,636	18,274	209,414	—	209,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,213	2,465	612	19,289	△19,289	—
計	108,717	101,101	18,885	228,703	△19,289	209,414
セグメント利益	453	5,643	1,221	7,316	42	7,359

(注) 1 セグメント利益の調整額42百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒		
減損損失	—	369	—	—	369

(参考情報)

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	39,978	27,351	15,396	9,374	92,099
連結売上高(百万円)					204,383
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.6	13.4	7.5	4.6	45.1

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	40,673	23,631	21,091	9,501	94,896
連結売上高(百万円)					209,414
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.4	11.3	10.1	4.5	45.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国  
 (2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国  
 (3) 北米 ……………北アメリカ諸国  
 (4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。